

光太郎の食



おやつ 編

企画展

光太郎、 つくりくふ。



彫刻家で詩人の高村光太郎は、花巻の山小屋で約7年間独居自炊の生活を送りました。今回の展示では、食事のエピソードをとおして手作りのおやつや好きな飲み物に焦点をあて紹介します。



2022 年

11月23日 祝水

2023 年

～ 3月21日 祝火

高村光太郎記念館
企画展示室

開館時間 午前8時30分～午後4時30分

休館日 12月28日～1月3日

入館料 一般 350 円 (300 円) 高大学生 250 円 (200 円) 小中学生 150 円 (100 円)

※ () 内、団体20名以上の料金

花巻市太田 3-85-1
☎ 0198-28-3012



展示について

彫刻家で詩人として知られる高村光太郎は、戦後、62歳の時に太田村山口（現花巻市）へ移住し、約7年間の独居自炊の生活を送りました。山小屋での光太郎の食事内容は日記等に残されており、野菜等は自給でしたが、村人や友人たちの援助、そして光太郎の工夫により豊かな食生活を送っていたことがわかります。この企画展では、光太郎の「食」をテーマに、手作りのおやつや好きな飲み物に焦点をあて、光太郎風のハイカラな食の楽しみ方を紹介します。



好きな飲み物

若い頃に欧米に留学していた光太郎は、コーヒー通でもあります。コーヒーにレモンを浮かべたカフェドシトロンは留学時代の思い出の味でした。山小屋の囲炉裏でもコーヒーを楽しみ、訪れた客人にもふるまいました。

ミルクティーや抹茶のほか、ビールや甘酒なども好んで飲んでいました。



高村光太郎記念館 企画展示室

花巻市太田 3-85-1 ☎ 0198-28-3012

企画展

光太郎、
つくりくふ。

おやつ編



手作りのおやつ



食べ物についての知識があり、自炊生活をしている光太郎ですが、野菜だけでは栄養が足りないと友人に年間をとおしてバターを注文します。村で作っていたそば粉は白米よりも入手しやすく、そば粉のパンを作っていました。

このほか、ケーキや石垣団子、お汁粉なども手作りしています。



花巻の人との交流

花巻へ移住した光太郎に会うため、全国からいろいろな人が光太郎のもとを訪れました。その中には光太郎の健康を気づかい食材を届けた岩手の人々がいました。今回は、太田村山口地区長の駿河重次郎さん、日常のお世話をした高橋アサヨさん、リンゴ農家の阿部博さんを紹介します。

